

CENTENARY

2009. 9. 9
第 33 号
兵庫県立加古川西高等学校



文武両道による人格の形成

水泳 インターハイ

8月17日から20日まで
全国高校総体（水泳競技）
が大府立門真スポーツセ
ンター（なみはやドーム）
で行われました。

2年5組の築山 望さん
は4日目最終日に女子100
m平泳ぎに出場しました。
近畿地区の代表として奮闘
し、タイム1分14秒26で
した。残念ながら全国の壁
は厚く、決勝進出はなりま
せんでしたが、気持ちは既
に来年に向かっていきます。
更なる練習を重ねて一層飛
躍してくれるものと期待
しています。たくさんのお励
ましのお言葉ありがとうございます。



於近畿大会

野球部 大会報告

7月22日（水）淡路佐
野球場で3回戦が行われ
ました。相手は投手力の
優れた兵庫商業です。評
判通りの投手でしたが本
校野球部の粘り強さを発
揮し、勝利しました。

4回戦はシード校の三
田学園との対戦でした。
ベスト16に入る大事な一
戦だけに選手、保護者、OB
ともに実に力のこもった
試合となりました。ベン
チ入り18名全員が出場す
るといふ総力戦による展
開でしたが、惜しくも力
及ばずシードの壁に屈し
ました。しかし、試合内
容は決して相手に劣るも
のではなく、最終回には
2アウト満塁、一打同点、
長打で逆転というところ
まで追いつめました。

8月1日から4日まで全
国総体（ボート競技）が滋
賀県琵琶湖漕艇場で行わ
れました。
予選は5艇中3艇が準々
決勝へ進みます。優勝候補
がズバリと並ぶ組み合わせ
の中で、本校は惜しくも4
位。全力を出したものの僅
差で及びませんでした。
しかし、捲土重来を期し
て、準々決勝に再度挑戦し
た敗者復活戦では見事に、
1位を獲得しました。
準々決勝は6艇中2艇し
か準決勝へ進めない厳しい
壁です。しかも予選で当た
った優勝候補と再び対決と
いう巡り合わせ。
結果は・・・3位。
2位との差は4秒でした。
力の差もさることながら、
全国大会レベルのクルーは
マナーや素行もしっかりと
身に付いています。このよ
うな点からも見直し、次の
沖縄総体を目指していま
す。

ボート部

文理探究類型 説明会 終了

7月30日、本校体育館に
おいて加印学区250名余の
中学3年生の参加を得て、
開催しました。

特進クラスとして少人数
制を取り入れた教育課程と
難関大学を目指すための進
路指導方針を詳細に説明
しました。また、本年度入
学特色選抜クラス生徒4名
が、入学後の充実した学校
生活を生の声で紹介しまし
た。

参加中学生には40人定
員の本類型への合格を目標
に勉学に努力してほしいと
思っています。



ちょっと一言 <進取の精神>この言葉は学校の建学の精神や校訓、企業の理念などとしてよく使われています。これは、「既成概念にとらわれず、常に時代の一步先を見つめながら、チャレンジしていく」ことを表しています。といっても、安易に流行り廃りの波に乗ることでなく、未知の世界、新しい時代に求められることに挑戦していく勇気ある意識のことを言います。「停滞は死滅である」という言葉もあります。今に満足せず、工夫・改良・改革していく勇気を持ちましょう。